

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ハグ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 18日		令和7年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24世帯	(回答者数) 15世帯
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 18日		令和7年2 月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢や特性が様々な子ども達とのコミュニケーションを取ることが出来る。	日頃から一緒に過ごす中でお互いの特性を知りながら相手に対して、関わり方を学ぶ事が出来る環境作りをしています。	事業所内だけでなく、他事業所との関わりが出来るように計画を立てていく。
2	幅広い範囲でのイベントや外出活動。	様々なイベントに参加、活動をする事で個々の強みを活かしながら失敗や成功経験を積み重ね生活スキルアップの向上を図る事が出来るように取り組んでいます。	同じパターンにならないよう、職員同士で意見を出し合ったりし工夫をしながら支援の質の向上を図る。
3	法人内でグループホーム、就労継続支援事業所を展開しており、児童の将来を見据えた進路についても保護者や本児の希望に応じて情報提供を行うことができる。	社内会議等を通して、就労についての情報収集を行っている。また、体験を通して本児の出来る事や保護者の将来へのイメージが付きやすい環境作りを行っています。	定期的に見直しをし各家庭と話しながらニーズに合った調整をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	朝礼などの細かな支援の話し合いの場や頻度が少ない。	職員の「したい」で終わらずに習慣化出来るよう改善していく。	業務の中で、あえて時間を作るようにしていく。長々と話さずに必要最低限の内容を積み重ねていく。
2	職員一人ひとりに情報が共有されずに支援している事がある。	方向性を確実にしていく為に周知の確認やライングループの活用等の仕方を再度、確認していく。	個々に困っている事、こうした方がいい事など聞き取りを行いながら全体で運営しやすい方へ意識を高めていく。
3	会報誌の活用が出来ていない。	避難訓練等の大事な項目や特に見て欲しい所を、わかりやすいように改善していく。	特に見て欲しい所、読んでほしい所を会報誌を渡す時に伝え日頃の姿や頑張っている事などをさらに周知出来るようにしていく。